

情勢報告

質・量ともに日本一のナス産地を目指せ！ ～ナス品質向上推進協議会～



ナスの増収・品質向上対策を協議する協議会メンバー

9月26日、J A土佐あき本所で29園芸年度第1回ナス品質向上推進協議会が開催されました。各場ナス部会役員とJ A、園芸連、農業改良普及課から31人が参加し、品質向上・増収に向けた28園芸年度活動実績及び29園芸年度の活動計画、中・長期展望に立った『ナス産地の再構築プラン』について協議しました。参加した生産者からは、「品質向上指標はA品率だけでなくA品とB品の合計率でも見て欲しい」「重点モデル農家への指導内容をもっと詳しく紹介して欲しい」等の意見がでました。

今後、農業改良普及課は、品質向上のための重点モデル農家への栽培指導の強化や、『ナス産地再構築プラン』の具体的な取り組みを関係機関と役割分担して進めます。

反収1 t 増収を目指して！ ～中芸集出荷場園芸研究会ナス部会～



現地ほ場で熱心に意見交換する生産者

9月27日に中芸集出荷場園芸研究会ナス部会が現地検討会と栽培講習会を開催し、ナス生産者13人の参加がありました。そのうち半数は就農5年以内の若手生産者でした。参加者は単為結果性品種や2本仕立て密植栽培、環境制御技術等の試験的な取り組みを熱心に学んでいました。

農業改良普及課は直近の気象データと初期管理の注意点や病害防除対策を説明しました。また、J Aは次年度に向けて環境制御技術普及促進事業を周知しました。

農業改良普及課は、今後も基本栽培管理や病虫害対策及び環境制御技術を普及します。

地元の野菜を食べよう！ ～佐喜浜小学校で出前授業を開催～



ナスピザを作る児童

10月4日、芸東集出荷場ナス部会の女性たちが主体となり、室戸市立佐喜浜小学校の3～5年生17人を対象に「芸東の野菜について」出前授業を行いました。

農業改良普及課室戸支所が芸東地区の特産物、ナスの栽培方法と出荷方法、エコシステム栽培について紹介した後、女性たちの指導のもと「慎太郎ナス」を用いてナスピザ、ナスのシーフードサラダを調理し、試食しました。

当初、約半数の児童が「ナスはきらい」と言っていましたが、調理・試食後は全ての児童が「とてもやわらかくておいしい」と話していました。

室戸支所は今後も子供たちに地区の農業を知ってもらうための活動を支援します。

情勢報告

今年のユズの状況は？ J A 土佐あき柚子部目慣らし会・市場取引懇談会



市場関係者を交えた目慣らし会の様子

10月4日にJ A 土佐あき柚子部の生産者50人が参加し、安芸ゆず集出荷場でカラーリング玉目慣らし会を行い、その後、J A 土佐あき本所に市場関係者5人を招き市場取引懇談会を開催しました。

目慣らし会は、安芸・北川出荷場に加え、現在カラーリング玉を出荷している徳島や物部等の産地の品8点を集め、市場関係者が内容を評価し、生産者で確認しました。また、市場取引懇談会では、産地・消費地の現状を報告し、市場から数量の把握（計画出荷）について要望がありました。その後、活発な意見交換となり、「青玉からスタートした今年のトレイ玉の評価はどうか」といった意見もありました。

農業改良普及課は、話し合われた内容を生産者・関係機関と連携し実践できるよう支援します。

今年もユズの季節がやってきた！ J A 土佐あき柚子部北川支部がユズ目慣らし会を開催



出荷の規格・注意点を聞く生産者

10月7日にJ A 土佐あき柚子部北川支部が28年産ユズの出荷目慣らし会を開催し、生産者93人の参加がありました。

J A からは冬至用や黄玉、酢玉の出荷規格や出荷時の注意点等について説明があり、農業改良普及課は現在発生が見られる病害の対策や、収穫期の肥培管理、適期収穫の実施を呼びかけました。

生産者からは「どの程度のキズまで青果で出せる？」「9月の雨で実が腐って落ちているけど、今からでも薬をやった方が良い？」などの質問が出され、活発な目慣らし会となりました。

農業改良普及課は、今後もJ A と連携して活発な部会活動ができるよう支援します。

平成 28 年度第 3 回集落営農塾（組織化）の先進地視察研修を開催！



熱心に説明を聴く参加者

10月13日に、集落営農塾（組織化）の先進地視察研修を開催し、管内の集落営農組織組合員と関係機関の11人が参加しました。先進地として、四万十町の集落営農組織2組織（見付権七営農協議会、（農）藤ノ川ファーマーズ）を視察しました。

視察先の組織からは、「集落営農はリーダーの役割が重要」「できることから始めて徐々に規模を大きくしていくのがよい」などの助言がありました。

参加者から「交付金等を上手に活用している部分が参考になった」「集落営農の情報を共有できる協議会を作ってほしい」等の声が出ました。

農業改良普及課は、今後も集落営農塾（組織化）を開催し、各地域で集落営農の組織化に向けて話し合いが進んでいくよう、関係機関と連携して支援します。

情勢報告

百石ファーム野菜栽培学習会



生産履歴の記帳方法を学習中

10月11日、農業改良普及課は、J A土佐あき奈半利支所会議室で百石ファームを対象に、11月作付け予定のタマネギ、ニンニク、ダイコンの栽培方法と生産履歴記帳方法の学習会を開催しました。

組合員は、うね幅や肥料のやり方等を熱心に学習し、稲刈り後すぐに作業に取りかけられるよう、種苗や肥料、資材等を注文し、耕耘からは種までのスケジュールを設定しました。また、「栽培管理も大切だが、生産履歴の記帳も抜かりなくやっていこう」と意欲的でした。

今後も、農業改良普及課は、時期ごとの栽培指導や生産履歴記帳のチェックを行い、適正な管理ができるよう支援します。